

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

| | |
|----------------------------------|---|
| 名称：社会福祉法人三篠会京町いづみ保育園 | 種別：保育所 |
| 代表者氏名：園長 鷹取由美 | 定員（利用人数）： 130名 |
| 所在地：〒210-0848 神奈川県川崎市川崎区京町3-26-1 | |
| TEL：044-322-3811 | ホームページ：http://www.misasakai.or.jp |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日：2009年4月1日 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人三篠会 | |
| 職員数 | 常勤職員： 22名 非常勤職員 22名 |
| 専門職員 | （専門職の名称） 名 |
| | 保育士： 26名 管理栄養士： 1名 |
| | 看護師： 1名 |
| 施設・設備 の概要 | （居室数） （設備等） |
| | 2階・乳児保育室3、一時保育室1、多目的室1 1階・幼児保育室3、給食室1、事務室1 屋上プール（組み立て式） |

③ 理念・基本方針

<理念>

地域におけるもっとも身近な児童福祉施設として入所児童および地域の児童の最善の利益を考慮し、福祉の増進を図る。

- ◎子どもの健やかな育ちを支援
- ◎保護者の就労と育児の両立を支援
- ◎地域の子育て家庭を支援

<方針>

安定した気持ちで園生活が過ごせるように、一人ひとりの子どもを充分受け止め興味、関心にあった援助をする。一人ひとりの成長、発達をとらえ、子ども自身が考えたり、見通しを持った行動や、生活ができるよう「待つことを心がける。同年齢の友だちや大人など人との密接なつながりの中で自分を表現したり、相手を認めたり共感したり、時には感情をコントロールできる豊かな関係作りをする。保育園と家庭がそれぞれの役割を充分認識し、共に力を合わせ、子どもの成長を助け、見守っていきけるよう連携を取り合う。地域の保育園として園庭開放やおひさまニコニコ会、育児相談、育児講座、小田球場開放日への参加など、積極的に地域と連携を取り合う。限られた自然の中で、飼育動物や小動物に関心を持ったり、草花や野菜などの栽培により豊かな感性を育てる。野菜の栽培や、給食へのかかわりにより、食への関心を高め食育を行う。散歩を多く取り入れ、歩く力、人や自然と関わる力、集団行動のマナーなどを身につける。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・住宅地の中にあり、周りは高層マンションが多いが、公園、樹木に囲まれた広い園庭が特徴である。園庭、敷地内には柿、ざくろ、みかん、さくらんぼなどの果樹、夏野菜の栽培、さつま芋栽培、収穫を楽しんでいる。
- ・栄養士を中心とした食育、箸の指導（無理なく子どもたちのペースに合わせた箸の検定）は大豆10個つまめるようになって卒園していく。
- ・看護師を中心とした保健指導、生活習慣（自ら衣服の調節など）、友だちとの関わりで見えない心を見える形にした指導を行っている。
- ・子どもたちの未来を取り戻せ～運動あそびサポート～をタイトルに日々の保育を通して0～5歳児の発達に応じた、向上を目指した取り組み。外部講師の協力を得て、年間計画で職員研修を行い、足裏測定、体力測定を基に個々の運動能力を高めていく取り組みでもある。
- ・リズム感、表現力、体幹を意識した取り組みとして、ダンス教室の取り組みがある。・体験と学びを実感できる保育に努め、保育目標である「心身ともに健康な子ども」の成長の支援に努めている。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---|
| 評価実施期間 | 2020年9月3日（契約日） ～ 2021年4月28日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 3回（平成29年度） |

⑥総評

◇特に評価の高い点

・職員連携のもと、子どもの成長・発達を重視した様々な活動を保育に取り入れている。

「心身ともに健康な子ども」の成長支援を保育目標に掲げており、保育士、看護師、栄養士などが一体となって、そのために様々な活動を実施している。看護師を中心とした保健指導、生活指導。栄養士を中心とした食育、箸の指導など。さらに、保護者の就労と育児の両立、地域の子育て家庭の支援など職員のそれぞれの専門分野を活かした保育が行われている。

・園内研修の充実を図り職員一人ひとりが発言できる機会作りをしている。

職員が意見を出し合い学び合う機会を作るために、園内研修の充実に力を入れて取り組んでいる。経験の少ない職員も多いことから、発表を経験し一人ひとりが発言する機会作りをしたことにより、自信を持って意見を伝えられる姿が見られている。会議において何も発言しないことがなくなるように、小さな会議を増やすことで保育内容の充実に向けても取り組んでいる。

・一つひとつの計画を見直し丁寧に取り組むことを大切に保育にあたっている。

主体的な保育について継続的に学びを深めており、食育・運動・制作・表現など、それぞれ細かく計画を作成し確認のためクラスで話し合い全体共有し実施につなげている。担任の得意にたよることなく、子どもたちが様々な経験ができるよう取り組んでおり、子どもが主体的に活動する姿も見られるなどの成果が報告されている。

◇改善を求められる点

・園独自の中・長期計画の策定が望まれる

本部にて法人全体の中・長期ビジョンが策定し提示があり、園ではそれを踏まえた上で各種年度事業計画を策定している。各種計画は状況により必要に応じて見直しなどを行

い「京町いづみ保育園」として計画としているが、法人の一キャンパスとしての位置づけで共有している。少子化に向け、特徴や独自性で選ばれる保育園の時代になりつつある。よって、中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定するし、実施状況の評価を行える内容とすることが望まれる。また、単年度計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容を具体的に掲載することが望まれる。

・マニュアルの見直しに取り組んでいる

法人、川崎市、園独自のマニュアルを整備しており、周知し実践に活かせるようにしている。必要に応じて内容の見直しを行っているが、根本的な内容の見直しに向けて係をつくり取り組みを始めている。法人としてのマニュアルをさらに保育に特化したものとし、新人育成にむけて活用できることを目標としている。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育目標の基、職員全体が連携し、子どもの成長支援に取り組んでいけるように、現状に留まらず、自ら学ぶ機会を作り、更に専門性を高めていく。
子ども一人ひとりの個性を受け入れ、子どもが理解しやすい声かけを大事にしていく。
園や環境に合ったマニュアルの見直しと、地域との協力、情報の共有に努める。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり